

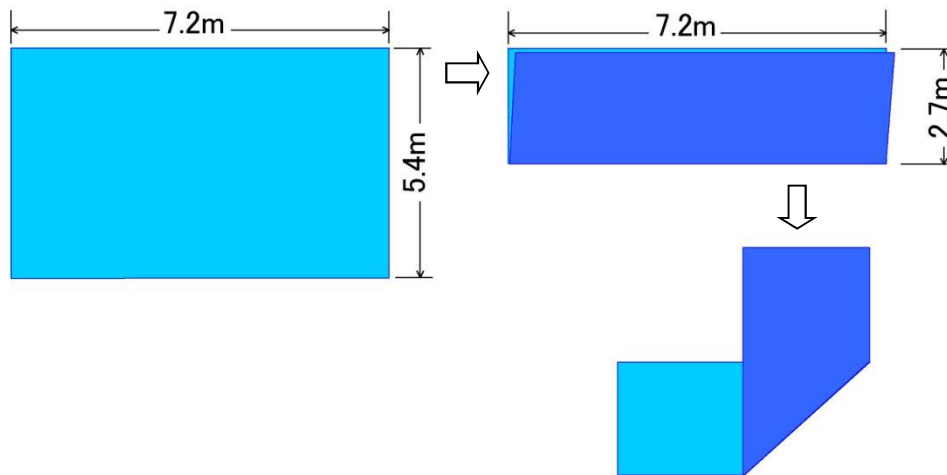
(3) ② 月の輪工 (杭省略型) (ブルーシート使用)



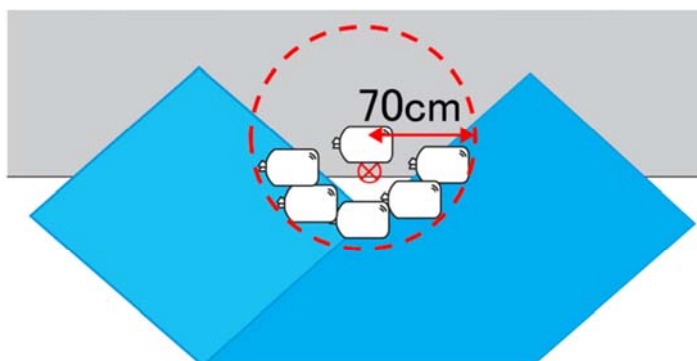
■目的

増水中に、堤防の居住側法面より水の吹き出しが確認された場合に、漏水の噴出口に土のうを積んで水を溜め、河川水位と漏水口の水位差を縮小することで、水の噴出の勢いを抑え、漏水口の拡大を防ぎ堤防の決壊を防止する工法です。従来の月の輪工から鋼杭と土による間詰めを省略した工法です。

■作業手順 ①ブルーシートを半分に折り、さらに「くの字形」に折ります。

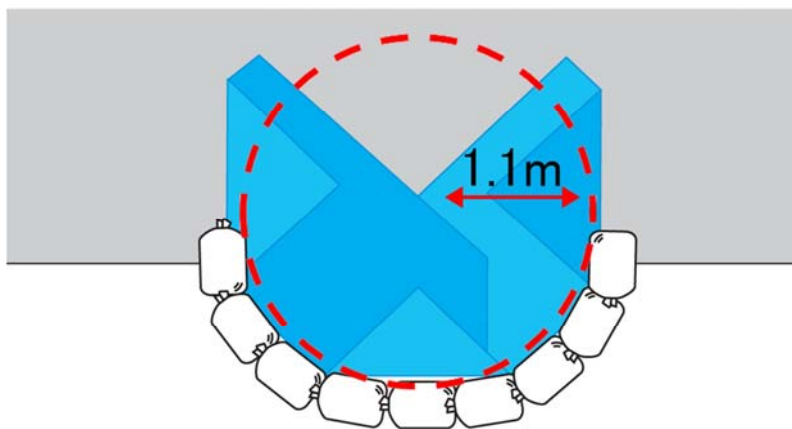
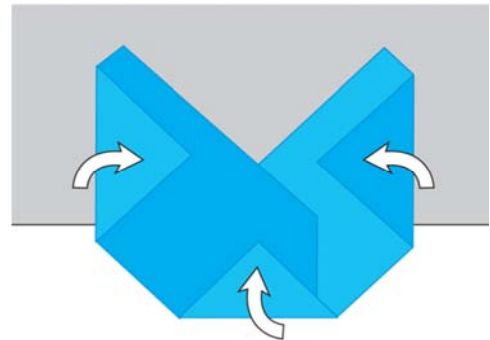
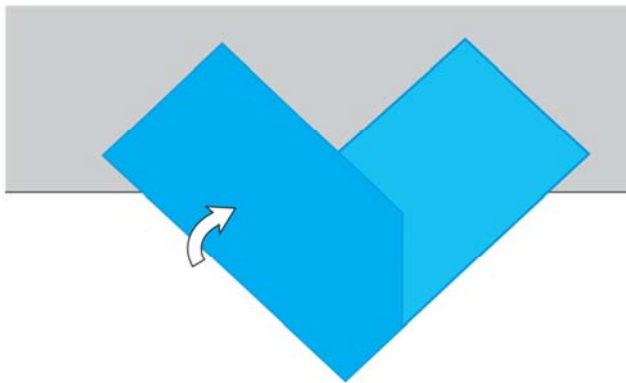
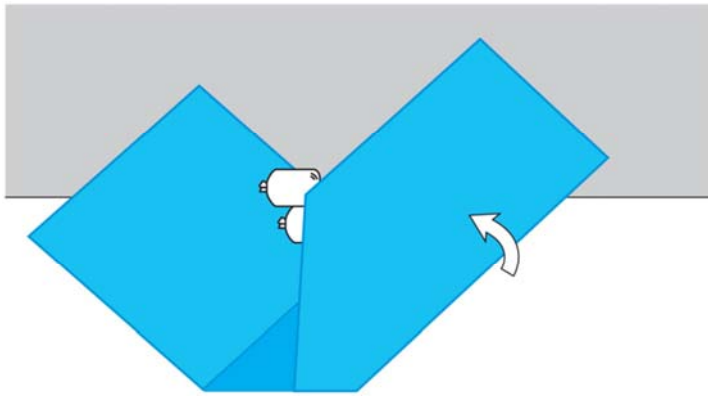


②ブルーシートの敷設
漏水箇所の手前に目印の土のうを置きます。折ったシートを、目印土のうを囲む用に敷きます。

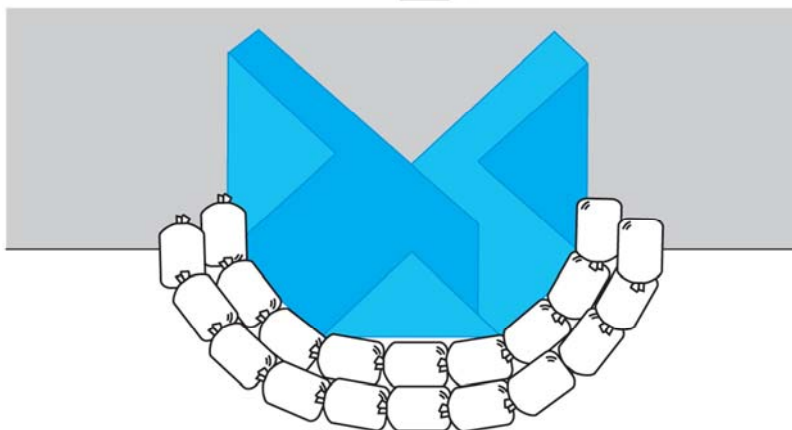


③目印土のうを中心とした半径70cmの円の内側に土のうを並べます。

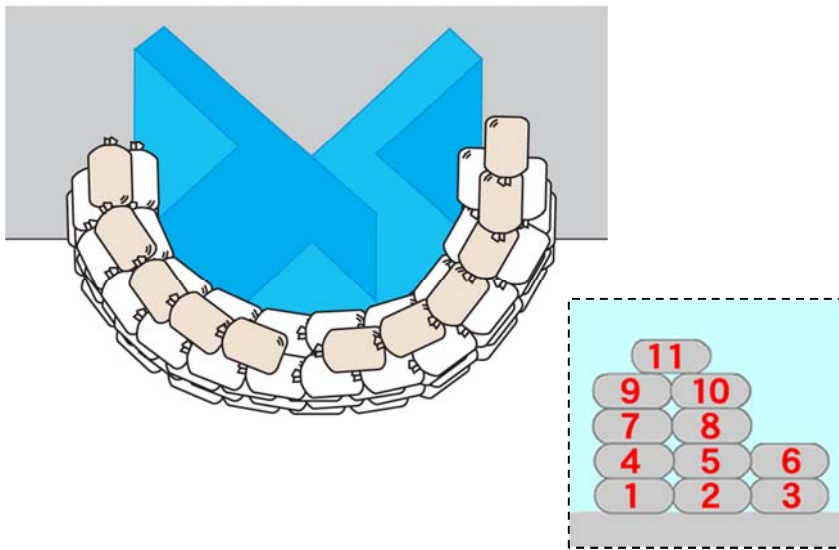
④土のうを包むようにシートを折り返していきます。



⑤土のう積み
折り返したシートの周りに土のうを長手積みで並べます。
土のうは漏水箇所を中心に半径1.1mの円の外側に並べてください。



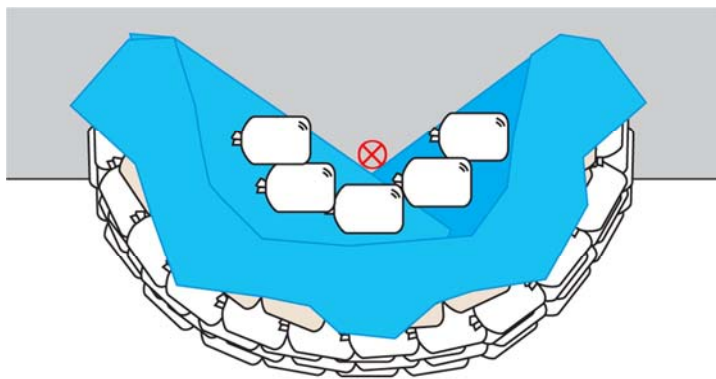
⑥先に置いた土のうの外側に1段目の土のうを内側同様に長手積みで並べます。



⑦内側・外側土のうを4段目まで積みます。5段目の土のうは4段目の土のうの間に並べます。

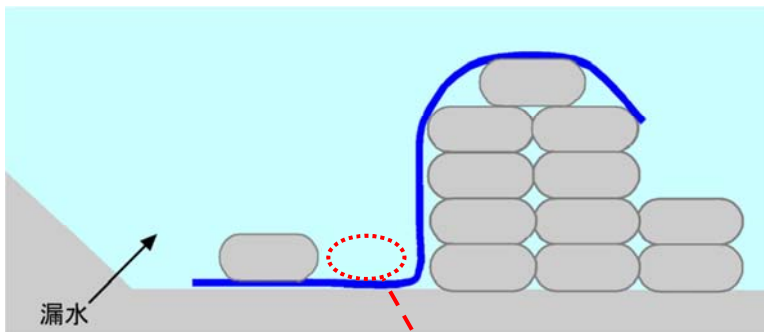
塩ビ管を取り付ける位置に隙間を空けておきます。

土のうは赤字の順で積んでいきます。

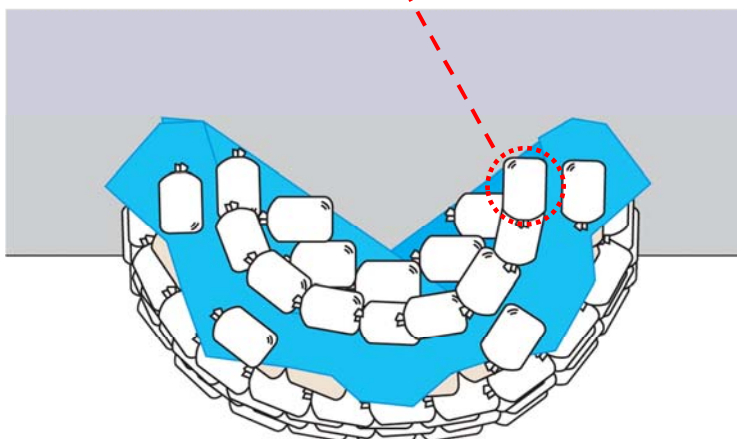


⑧シートの展開

折りたたんでいたシートを開き、土のうの上に広げていきます。

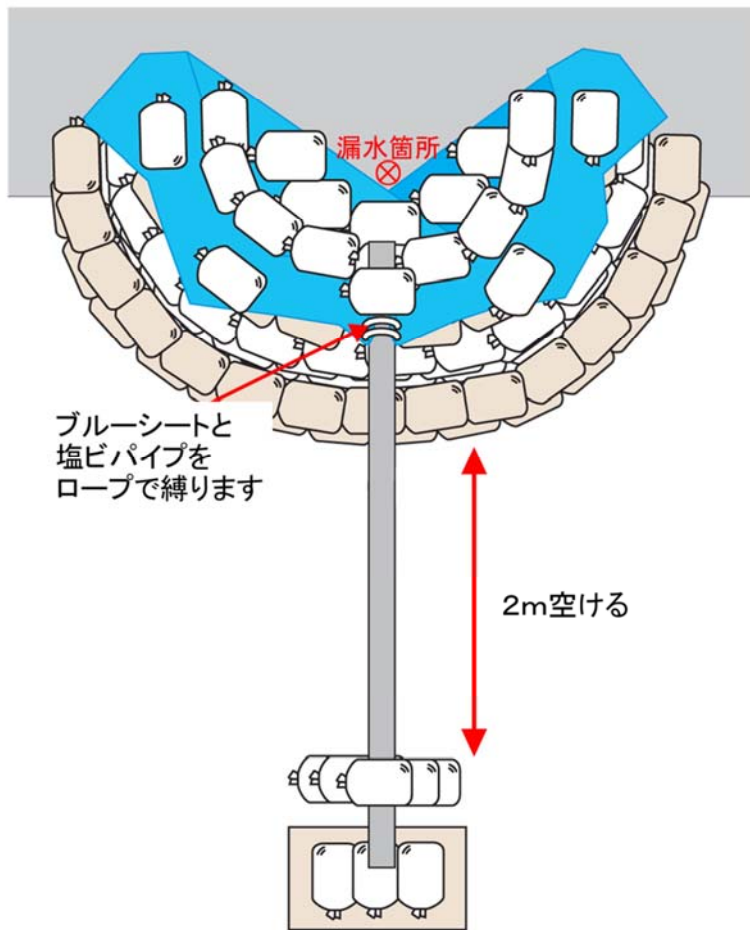


⑨ブルーシートを展開した時点で左図のようになります。



⑩漏水を極力防止するため、シート内側に土のうを並べます。

広げたシートを押さえるため、4箇所土のうを置きます。

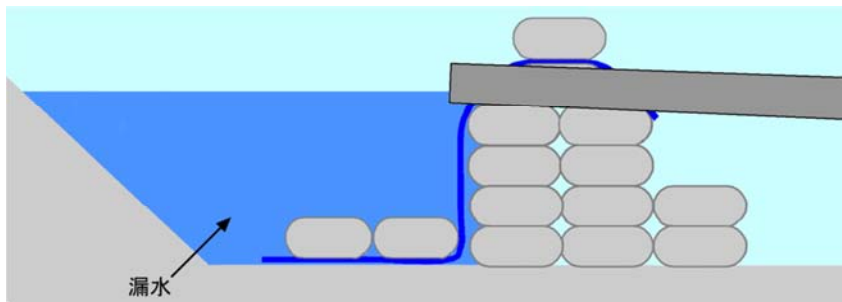


⑪外側土のうの外に2段で控え土のうを積みます。

⑫控え土のうから2m離れたところに土のうを2段積み、塩ビパイプを支えます。

パイプとシートを密着させるため、シノでシートに穴を開け、ロープでパイプと結束します。塩ビパイプの上に土のうを1袋置きます。

⑬水落下部の施工はパイプの水がおちる場所にブルーシートを1枚敷きます。その上に土のうを3袋、パイプと平行にして並べます。



完成図

●月の輪工（杭省略型）数量表

人 員	資 材				器 具		
	名 称	形状寸法	単 位	員 数	名 称	単 位	員 数
20人	土のう		袋	400	掛矢（土羽板 代わりに使用）	丁	2
	ブルーシート#2000	5.4m×7.2m	枚	1			
	ブルーシート#2000	2.0m×1.0m	枚	1	シノ	丁	1
	ロープ	φ6mm×3.5m	本	2			
	塩ビパイプ	φ150mm×4m VU管	本	1			
	土砂	（土のう袋詰め用）	m ³	4.0			